

社会福祉法人

大村子供の家



みらいのカタチ

9月23日、ついに西九州新幹線が開業しました。新大村駅の周辺でも開業イベントが行われ、新幹線かもめの見物を兼ねて、多くの人々が集まりました。コロナや戦争、消費者物価上昇など何かと暗いニュースが多い中、久々にワクワクする話題です。新幹線開通をきっかけに将来、長崎がどのように発展していくのか楽しみです。

新幹線は電気をエネルギーとして動きますが、これからは乗り物の殆どが電気で走る時代になるのでしょうか。日本政府は「2035年までに乗用車の新車販売で電動車100%を実現する」「2050年には脱炭素社会（車から排出されるCO2をゼロにする）」と公言し、諸外国においても、脱化石燃料の動きが高まっており、車だけでなく、電動船や電動飛行機の開発も進められています。

電気を生み出す方法としていくつかありますが、中でも注目されているのは再生可能エネルギー（太陽光、風力、地熱、水力、バイオマス発電）です。日本は再生エネを推進しており、2030年には発電電力量の三分之一を占めるほどになると予測され、その後も増える勢いです。そう言えば身近なところで太陽光パネルや蓄電器、電動車をよく見かけるようになりました。我々の未来の生活も、新幹線のようにもの凄いスピードで変化しようとしています。



西九州新幹線 かもめ

2030年度の発電電力量・電源構成

[億kWh]	発電電力量	電源構成
石油等	190	2%
石炭	1,780	19%
LNG	1,870	20%
原子力	1,880~2,060	20~22%
再エネ	3,360~3,530	36~38%
水素・アンモニア	90	1%
合計	9,340	100%

※数値は概数であり、合計は四捨五入の関係で一致しない場合があります

[億kWh]	発電電力量	電源構成
太陽光	1,290~1,460	14%~16%
風力	510	5%
地熱	110	1%
水力	980	11%
バイオマス	470	5%

※数値は概数

経済産業省 資源エネルギー庁 HP



生き残った栗の木から実を3粒収穫

昨年12月、黒木の子供の家キャンプ場に植えた栗の木がもう実をつけていました。ことわざの通り3年待たないといけないと思っていました。想定外な出来事に一同ビックリ。

想定外なことはまだまだ続きます。15本植えた栗の木のうち、8本がイノシシに倒されてしまいました。おそらく、栗の匂いを嗅ぎつけて、食べに来たのだと思います。来年イノシシ対策の柵を設置予定でしたが、一足先にやられました。倒された木を元通りに立ててみたものの、再生することなく、枯れてしまい、また一からのスタート。今回の反省を機に、シルバー人材センターさんのお力を借りて、イノシシ対策の柵を設置し始めています。

トライ＆エラーを繰り返しながら、安定的な収穫ができるまで、結局のところ、ことわざ通りに3年ほど時間がかかります。

桃栗一年？柿八年



世界の国からこんにちは イギリス (グレートブリテン及び北アイルランド連合王国)

エリザベス2世が2022年9月8日に崩御されました。70年以上もの間在位され、国民のみならず、世界中に愛された女王に哀悼の意を表し、今回はイギリスをご紹介します。

日本でも馴染みのある国、イギリスですが、正式名称は United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland (グレートブリテン及び北アイルランド連合王国) と長いので、UKあるいはGBと略されます。実はイギリスと呼ぶのは日本だけで、その由来は江戸時代、イングランドをイングレスと発音するポルトガル語から来たと言われています。イギリスは正式名称の通り、連合王国で4つの国(country)から構成されており、国旗であるユニオンジャックも、それぞれの国の旗を組み合わせたものとなっています(ウェールズは長い間イングランドの一部とされていたため、国旗に反映されていません)。

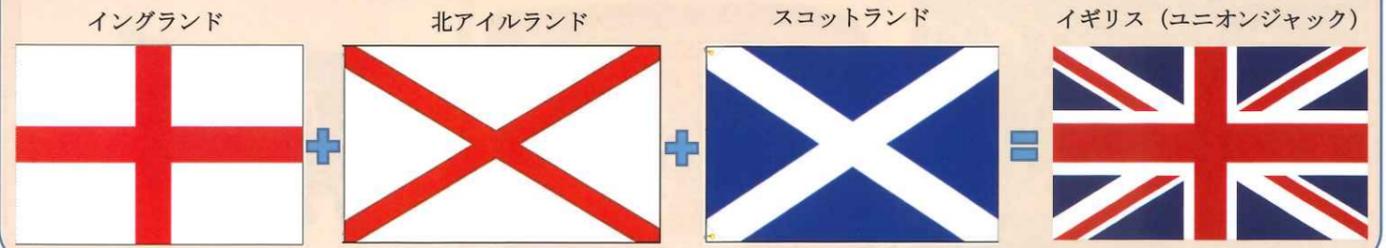


エリザベス2世 1952年



イギリスと日本はいくつか共通点があります。王室がある、車が左側通行・右ハンドルの文化、お茶を楽しむ文化、島国などなど。また個人差もありますが、空気を読む文化、礼儀を重んじる文化も共通していると感じます。女王が1975年に来日された時も両国国民の類似点(高い技術力、新しい知識への好奇心、伝統を重んじる心、庭を愛し車は左側通行)について言及されています。ちなみに女王も当時新幹線乗車を楽しみにされていました。

両国の結びつきは歴史的にも強く、古くは400年以上前、徳川家康の外交顧問となったウィリアム・アダムス(三浦按針)の活躍から始まり、19世紀に主に長崎で活躍したトーマス・グラバー、長州五傑や岩倉使節団のイギリス留学など日本の近代化に大きく影響しました。薩英戦争や第二次世界大戦など、両国の対立時代もありましたが、日露戦争時、日本勝利の裏には「日英同盟(日本とイギリスの軍事同盟)」の存在があったのも事実です。女王亡き後も、両国の友好と発展が継続していくことを切に願います。



行事予定

- 10月・・・キッズホーム指導監査(19日)、子家登山(8日)、子家稲刈り(15日)
- 11月・・・キッズランド運動会(5日)、法人秋祭り(19日)
- 12月・・・佐世保米軍来訪、九州電力もちつき、クリスマスイベント



編集後記

Faith(フェイス 信念・信頼)とFake(フェイク 偽物・偽造)という似た音の単語がありますが意味は真逆です。ニュースを見ていて、ロシア国民はこの二つに惑わされているように感じます。リーダー自身が、この二つの違いすらわからなくなっているのではないかと懸念します。歳のせいか、はたまた過去の栄光のせいか。いずれにせよ、その代償を受けるのは若者です。この戦争は過去に生きる人(特権階級)と、未来を生きようとする若者の狭間で生じた葛藤そのものです。若者なりのFaithに期待する他ありません。KM

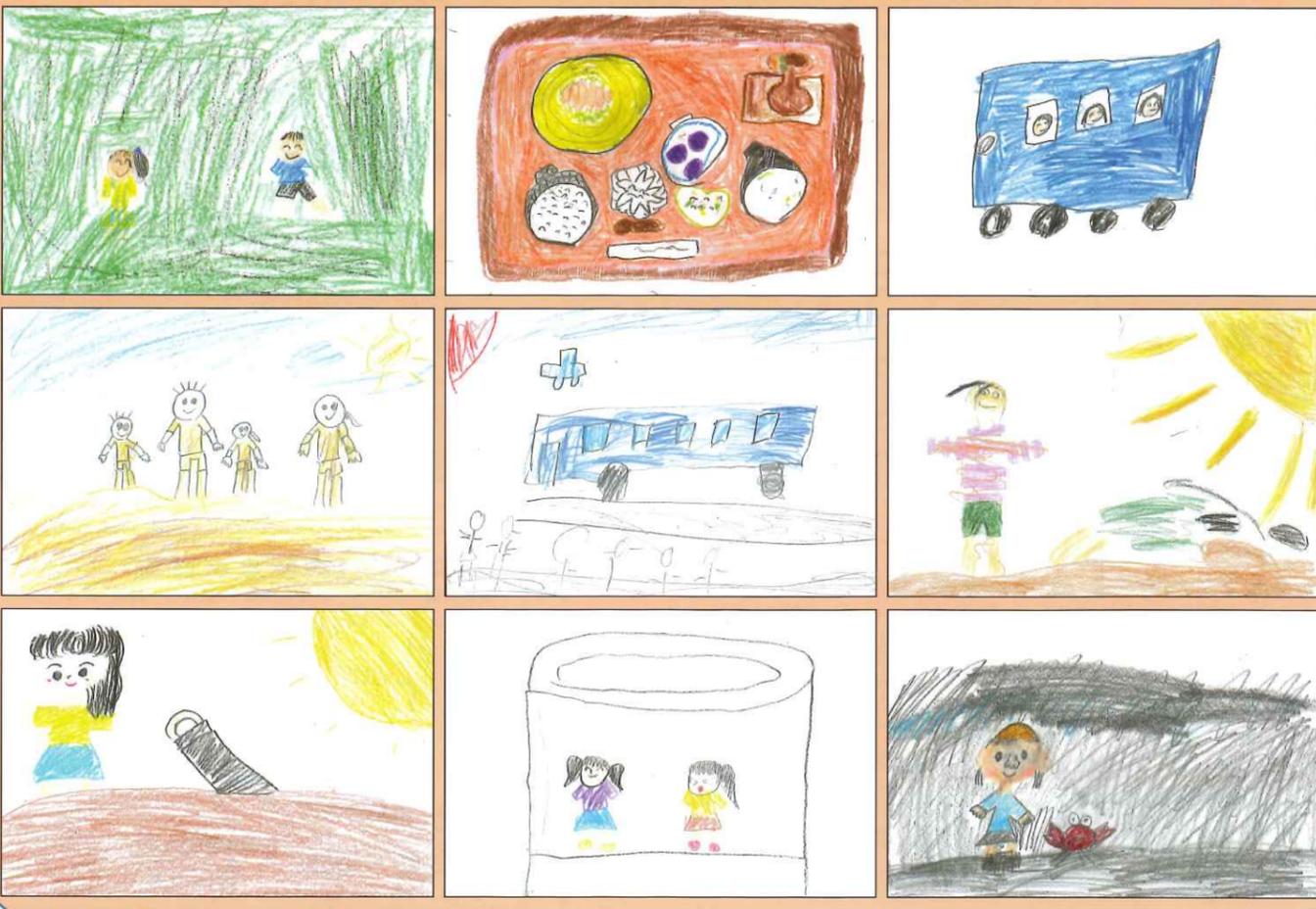
社会福祉法人 大村子供の家 〒856-0811 長崎県大村市原口町591番地2 TEL 0957-55-8319 FAX 0957-55-4661



放課後児童クラブ
b&g おおむら ~佐賀体験旅行~

夏休み最後の金曜日、待ちに待った佐賀への体験旅行の日です。
持ち物を確認し、バスに乗り込んで出発！楽しくお喋りする声が聞こえる中、バスに揺られること約1時間。“鹿島市干潟交流館”に到着。水着と専用の地下足袋に着替え、施設の人の説明を聞いて待望の干潟体験です。最初は怖がっていた子どもたちも、慣れてくると全身泥まみれになりはしゃいでいました。干潟に足がはまって抜け出せない子や、泥の中のムツゴロウ、カニを捕まえるのに夢中な子、潟スキーをする子など楽しみ方も様々！終了時間になっても名残惜しそうに「もう終わり〜？」「もっとやりたい！」と声があがりました。
場所を移動してお昼ご飯。「いただきます」「ごちそうさまでした」と大きな声で挨拶が出来ました。
午後に向かったのは“佐賀県立宇宙科学館ゆめぎんが”。まずは長い階段の前で記念撮影。集合時間と場所を決めたら自由行動の時間です。それぞれの見たい場所へ一目散、展示品だけでなく色々な体験が出来ると子どもたちは大喜び！大きなシャボン玉の中に入ったり、自分の骨がどう動いているか見てみたり、リニアモーターカー体験や、恐竜の化石についての展示もありました。思い思いに楽しんだ子どもたちは集合時間になるとご満悦の様子。留守番のスタッフに「ただいま！」。その声や表情から楽しかったことが伝わってきた夏休み最後のイベントでした。

子ども達は旅の思い出を絵や感想文にまとめてくれました！みんなどれも立派に書けていました！選ぶのが難しかったですが、中でも個性あふれて輝いていた絵をご紹介します。



認定こども園 キッズランド ~お楽しみ会開催~

元気いっぱい、夏を楽しみました！



コロナ禍による登園自粛により、皆様にご迷惑をおかけしましたが、おかげさまで落ち着き、子どもたちも元気に活動しています。先日は縁日ごっこをして楽しみました。秋には芋ほりやしいたけ狩り、運動会、秋祭りイベント盛りだくさんです。
コロナやインフルエンザに負けず、子どもたちが安全・元気に、そして楽しく過ごせるよう、スタッフ一同一層努力してまいります！引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

夏のお楽しみ会

的あて、ボールすくい、すいか割り♡夏をたっぷり満喫しました！

みんなで一緒に仲良く、たくさん遊びました。いろんなゲーム楽しかったよ！～



ボーリング、何本倒せるかな？！



どっちが本物のスイカかな？



児童養護施設 大村子供の家 ~シュールなメルヘン村~

「どんどんどん ドングリス♪」… 独特なBGMが頭から今も離れません。巨大過ぎるリスの銅像、ローラーの摩擦音のほうがか怖いジェットコースターなど、シュールで突っ込みどころ満載なメルヘン村へ、夏休みに子ども達とでかけました。元々は夏の1泊キャンプを予定していましたが、天候不良のため急遽、メルヘン村へのお出かけに変更。

子ども用プールや動く遊具、動物を飼育している場所もあるため、子ども達は各々自分の好きな場所・遊びを楽しんでいました。当初、中高生が楽しめるのかと心配していましたが、思いのほか満喫していた様子でした。村内は独特な世界観で、大人も子どもと遊べる遊具がいっぱい。「お金をかけずともアイデア次第で人はこれだけ楽しめる」ということを再認識するほど、工夫に満ちた遊び場の数々。ちなみに、この癖になるBGMは従業員が歌っているそうです。マスコットキャラクターの「ドン・グリス」にまた会いに行きたいと思います。



小規模保育園 キッズホーム ~お祭りだ集まれ~

キッズホームでは8月30日に園内で夏祭りを開催し、ハッピーを一人ずつ着ての金魚すくいやくじ引きなどを楽しみました。お祭りの恰好も様になっています。くじ引きではそれぞれ、自分の好きなキャラクターが当たり、大喜びでした。

9月27日には栄養士の先生と一緒にクッキング(ホットケーキ作り)を行いました。ボールに入れた材料を子ども達が交代で混ぜ、先生がホットプレートで焼くのを目の前に、「早く食べたいなあ」「いい匂いがする!!」と子ども達も完成を見守ります。そして出来上がったほかほかホットケーキを試食！「うーん おいしい！」

またおいしいおやつをつくらうね！

